

一 般 質 問

平成29年12月6日（水）

19番 伊 藤 一 治 議 員

1. 道の駅石狩「あいろーど厚田」開設について

- ①周辺の交通安全対策について
- ②道の駅を活かしたソフト事業について

2. 石狩新港地域の雇用対策について

- ①ビジネスホテルの進出による活性化策について
- ②域内の雇用対策（労働力確保）について

3. 石狩新港地域の整備について

- ①花川通の延伸早期開通について
- ②海上保安官署の設置について

4. 福祉施設の人材確保について

- ①厚田区・浜益区の介護施設の職員・人材確保に向けた施策の取り組みについて

5. 森林整備について

- ①本市の森林整備の現状について
- ②今後の整備について

11番 和 田 川 頁 義 議 員

1. 厚田・浜益の振興策について

厚田・浜益地区の人口減少は著しいものがありますが、減少をくい止め、地域の発展につながる振興策をお尋ねします。

2. 石狩遺産について

石狩遺産プロジェクトMによる石狩遺産は、11月18日のシンポジウムで6ヶ所となりました。いずれも世界に誇れる内容であり、市内外に発信し、石狩の振興につなげるべきと考えますが、認識とお考えをお伺いします。

3. 「ふるさといしかり」について

合併13年目となりましたが、旧3市村の歴史、文化、自然についての相互理解が進んでいないと思われまます。石狩市民としての誇りと自覚を強め、故郷意識を高めるためにも、以前発行された

「ふるさといしかり」の全市版を作成し、小学校高学年の副読本とし、市民にも配布すべきと考えますが、お考えをお伺いします。

4. 北前船について

北前船が運んだ数々の業績が評価され、日本遺産に登録されました。石狩にも寄港しており、既に認定された11港に加え新たに参加すると聞いていますが、認識と見通しについてお伺いします。

5. 国道231号線の安全確保について

9月14日の豪雨と18日の台風18号により、浜益地区では未曾有の災害に見舞われました。地球温暖化が急速に進行し、異常気象が常態化していく中で、従来の考え方では対処できない問題も予想されます。特に浜益地区の国道では、大部分が柱状節理の発達した玄武岩、安山岩が分布するため落石現象が著しく、過去に大規模な崩壊性地すべりも複数発生している個所もあり、更なる対策が急務となりますが、お考えをお示してください。

6. 学校の閉庁日の実施について

中学校で47%、小学校で23%の教諭が過労死ラインとの道教委の調査が出ました。少しでも負担を軽減するために、正月やお盆の前後などを閉庁とし、性分で開いていれば出勤を、と考える教諭にもあえて休んでいただく動きが広まっています。石狩市の取り組みについてお伺いします。

2 番 阿 部 裕 美 子 議 員

1. 避難所に特設公衆電話を設置する事について

①災害時の通信手段として、指定避難所等に特設公衆電話を設置する事について

2. 市の業務にテレワークの導入を

①石狩市行政改革2021の実施計画に謳われているテレワーク取り組みと今後の導入について

3. 中高世代の婚活事業について

①生きがい対策として、中高世代の婚活事業の推進について

4. いじめの早期対策の為にSNSの活用を

①いじめの早期発見、相談体制の充実、解決に向け、SNSを活用する事について

5. 若者の夢を叶える補助金制度の創設について

①海外留学や将来の夢につながる若者の挑戦を応援する為の補助金を支給する制度の創設について

6番 長原 徳治 議員

1. 新年度予算編成と財政運営について

- ①新年度予算編成の基本的考え方と状況は。新年度予算にこめる市長の思いや、主要事業要求等の状況は。
- ②地方交付税等の財源見込みは。
- ③市財政状況と財政運営指針及び民生費（扶助費）の位置づけと、高齢者福祉の充実について。
- ④平成29年度決算の見通しはどうか。

2. 国民健康保険について

- ①国保制度の法的位置づけと市民の担税力の認識について。
- ②都道府県化に伴う石狩市の納付金や標準税率と国保税率設定の考え方について。国保税は現状維持すべきと考えるが、いかがか伺う。
- ③データヘルス計画、ジェネリック医薬品の普及や、各種検診の受診率の向上対策にどのように取り組んでいるのか。今後更に市民の健康づくりに取り組む努力について。

3. 電算委託について

- ①電算処理システムの外部委託の状況について、契約方式等を含め伺う。
- ②電算処理システムに係る事務ミス防止対策は、どのように取り組まれているのか。専門的スキルを持った職員の養成、配置が急がれるのではないか。
- ③契約価格の競争性の確保等について。

4. 環境問題について

- ①生物多様性保全の取り組みについて、市の対策を伺う。

5. 教育行政について

- ①学校部活動のあり方と、教員負担の軽減について。
- ②中学生制服の保護者負担の軽減について、公正取引委員会等の提言も取り入れ、取り組めないか。
- ③黒髪強要に対する市教委の見解と、市内の状況と対応について伺いたい。

7番 堀 弘子 議員

1. 道の駅石狩「あいろーど厚田」について

- ①道の駅のオープンまで約4か月となり、着地型観光に向けた基盤整備が進められている。石狩市としての道の駅、着地型観光について市民に理解されることが必要であるが、残すところ4か月、市の行事開催や町内会の行事等で、PRを行うことが必要ではないか。

2. 高齢者政策について

- ①石狩市の介護予防の課題認識を伺う。
- ②地域力を活かす取り組みと支援策として、活動場所を提供する考えはないか伺う。
- ③介護に従事する職員確保が困難を来しており、解決策を早急に見出す必要があると考える。市独自で介護職員の所得改善や、住宅支援等を考えるべきではないか。

3. フッ素応用の危険性について

- ①むし歯予防は「科学的根拠に基づくもの」でなければならないが、科学的根拠が明確になっていないフッ化物応用を実施するのは問題ではないか。また、データによる科学的根拠を示すことはできるのか。
- ②日本歯科新聞に胎児期のフッ素暴露が認知機能の低下と関連することが掲載された。歯磨き剤のフッ素濃度の注意喚起は、6歳未満の子どもだけでなく出産を希望する方や妊娠期の方や身体的影響を考慮する幅広い年代に注意喚起すべき。
- ③フッ化物洗口による急性中毒症状には、牛乳を飲用させるとあるが、他市の状況として実際に中毒症状と思われる症状が出現し、牛乳を飲ませたが効果が見られず、フッ素との因果関係は明瞭になっていないが、点滴による治療が行われたと聞いている。フッ素洗口実施施設には、小児科及び内科の担当医がいるので、そのような状況が起こる可能性を伝え、適切な処置が行われるようにすることが必要ではないか。
- ④むし歯予防の科学的な根拠もなく、子どもへの身体影響は想定できないフッ素洗口は早急に中止すべき。
- ⑤洗口液の薬剤添付書を保護者に配布すべき。

4. ワクチンの副作用について

- ①子宮頸がんワクチン接種によって副作用症状を発症した方の救済制度申請が否認された。不服申し立て等を行うべきと考えるが、その後の支援、対応について伺う。
- ②積極的に接種を勧奨した市としての責任を果たすため、規則の改正を行い治療の支援を継続すべき。
- ③ワクチン接種によって副作用が出現しても、責任の所在が明らかになっていない。同時接種による安全性の科学的な根拠はあるのか。0歳から1歳の間に接種が推奨されているワクチンの数は増える一方である。接種に関係する機関等には、接種が強制や義務ではなく任意であることと共に、接種しないと判断する権利を尊重することを再度周知すべき。

5. 学校図書館の充実について

- ①北海道の学校図書館における蔵書冊数は、他都府県に比べ小中共にワースト10に入っている。教育行政執行方針にあった学校図書館の蔵書の充実と環境の整備がどのように行われたのか伺う。また、中学校への図書館司書の配置検討の進捗を伺う。

1. 石狩警察署誘致について

- ①これまで、議会・行政が要望活動を続けてきているが、なかなか実現しない。市民による誘致期成会を活性化することや、国会議員への働きかけが必要と考えるが、市長の考え方をお伺いする。
- ②石狩湾新港内へ警察交番と海上保安官署を設置するための、具体的な要請活動内容について。

2. 石狩市職員の市内居住に対する基本的な考え方について

- ①11月に開催した議会報告会において、多くの市民から「なぜ、市職員が市内に居住しないのか」と問われた。市内居住が当然だと考えるが、採用条件に加えるなど、市職員の市内居住に対する基本的な考え方を伺う。

3. 公用マイクロバスの導入について

- ①市では数台のバスを所有しているが、使い勝手が悪い。視察の受け入れ等、いつでも使えるような公用マイクロバスを導入する考えを伺う。